

# 浄水地域のまちづくりを考えるアンケート調査（結果）

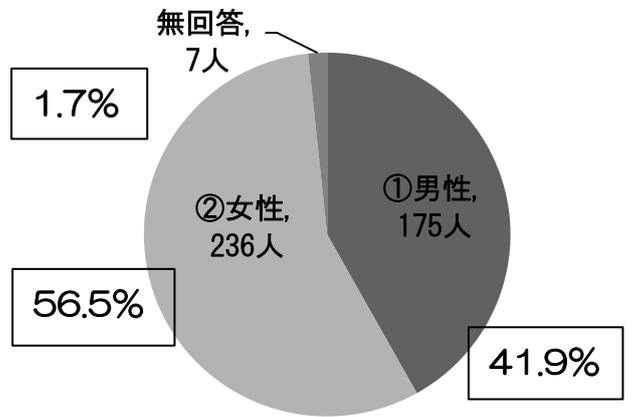
回答数：418 / 1000通

回答率：41.8%

## ■あなた自身(回答者)のことについてお聞きします。

### 問1 性別

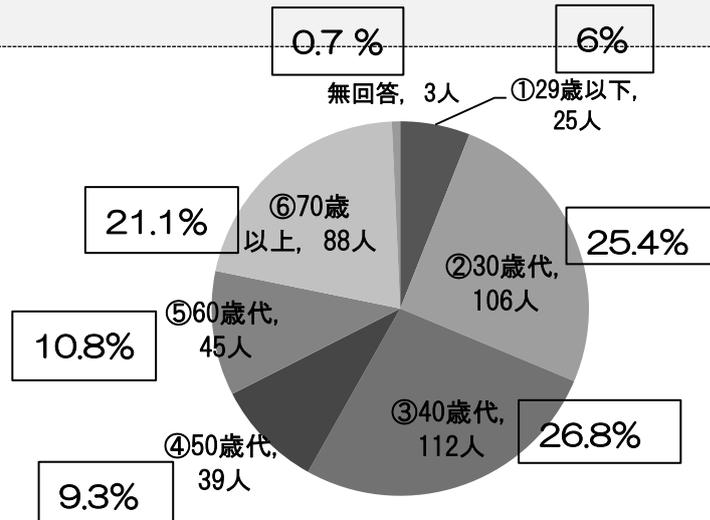
- ① 男性      ② 女性



※H29年度  
513件 / 1000件  
回答率51.3%

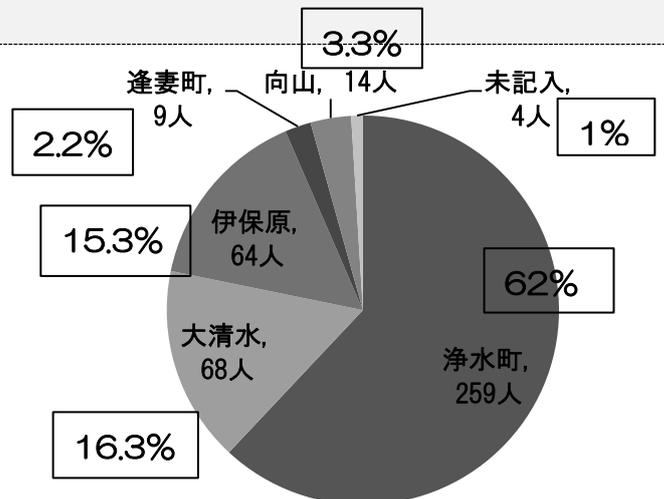
### 問2 年齢

- ① 29歳以下      ② 30歳代  
③ 40歳代      ④ 50歳代  
⑤ 60歳代      ⑥ 70歳以上



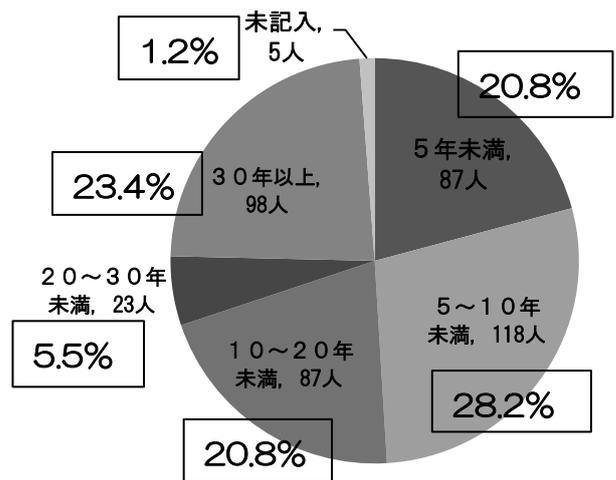
### 問3 お住まいの自治区

- ① 浄水町      ② 大清水  
③ 伊保原      ④ 逢妻町  
⑤ 向山



問4 浄水地域に住んで何年になりますか

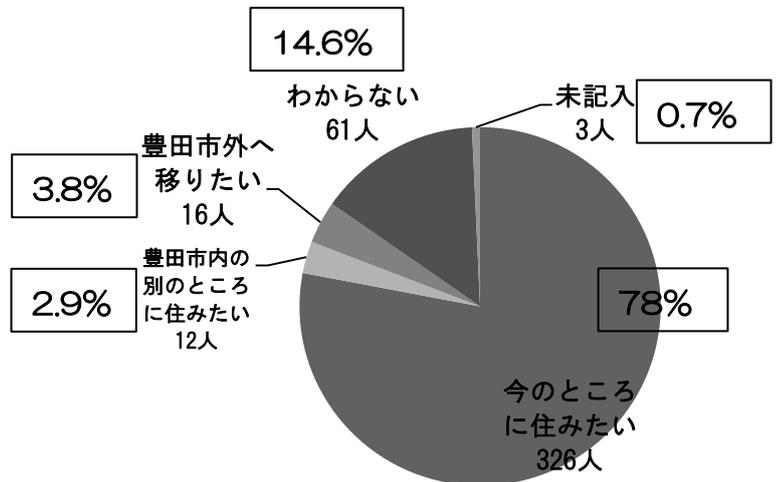
- ① 5年未満
- ② 5～10年未満
- ③ 10～20年未満
- ④ 20～30年未満
- ⑤ 30年以上



■地域活動についてお聞きします。

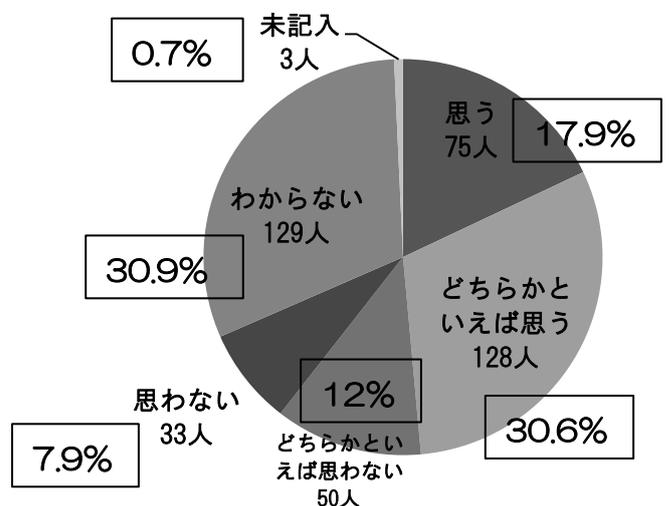
問5 あなたは、今住んでいるところに、これからも長く住みたいと思いますか。(○は一つ)

- ① 今のところに住みたい
- ② 豊田市内の別のところに住みたい
- ③ 豊田市外へ移りたい
- ④ わからない



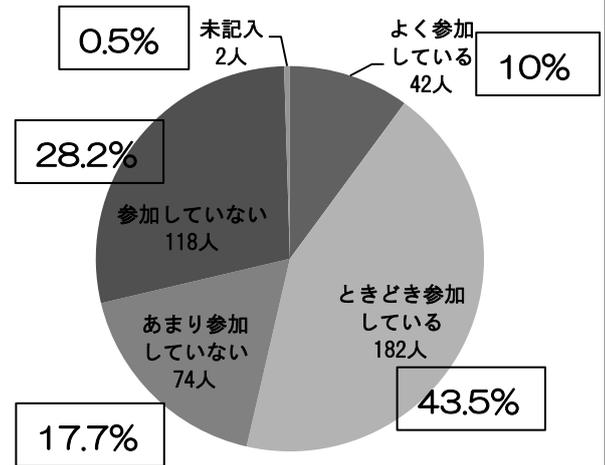
問6 あなたは、浄水地域が住民参加型でのまちづくりを進められていると思いますか。(○は一つ)

- ① 思う
- ② どちらかといえば思う
- ③ どちらかといえば思わない
- ④ 思わない
- ⑤ わからない



問7 あなたは、自治区活動や地域の行事など地域の活動に参加していますか。(〇は一つ)

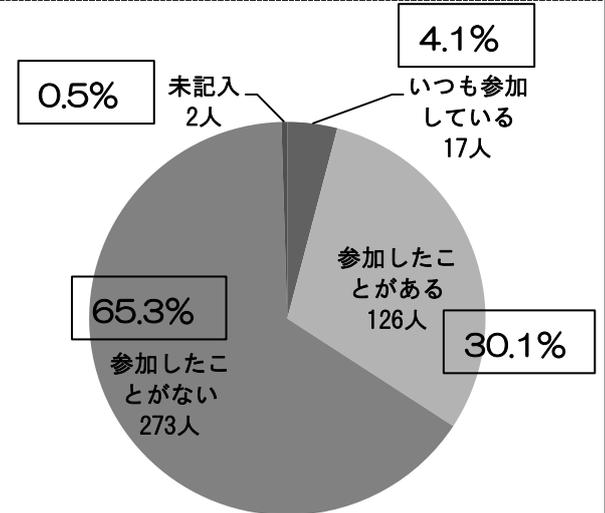
- ① よく参加している
- ② ときどき参加している
- ③ あまり参加していない
- ④ 参加していない



■防災についてお聞きします。

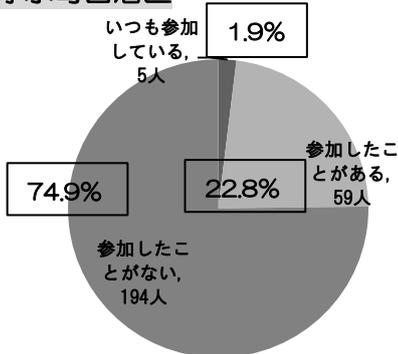
問8 あなたは、地域や自治区で実施している防災訓練に参加していますか。(〇は一つ)

- ① いつも参加している
- ② 参加したことがある
- ③ 参加したことがない

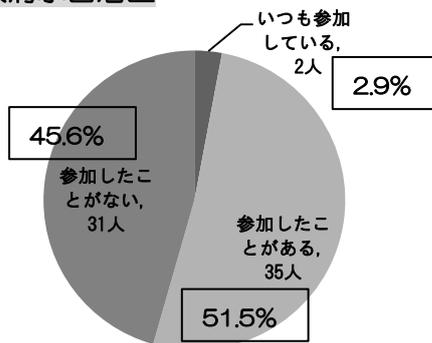


**指標** 防災訓練に参加したことがない人の割合  
 前回調査 ③=約62.5%  
 今回調査 ③=約65.3%  
 →約2.8%増加

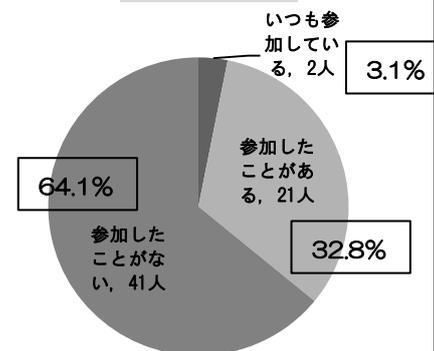
浄水町自治区



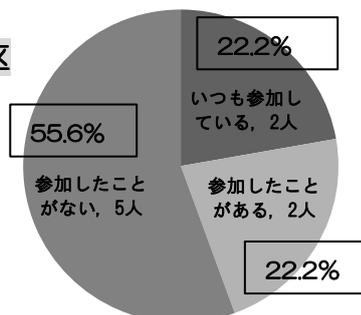
大清水自治区



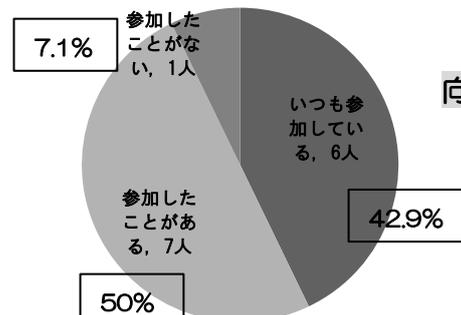
伊保原自治区



逢妻町自治区

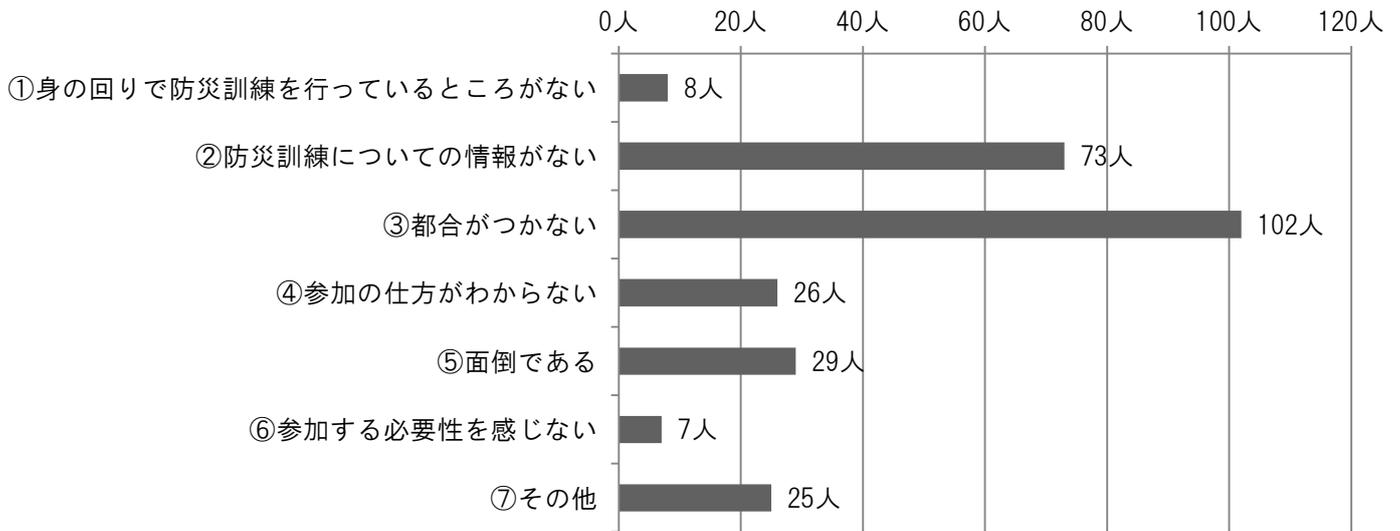


向山自治区



問9 前問で③とお答えの方にお聞きします。参加したことがない理由は何ですか。(〇は一つ)

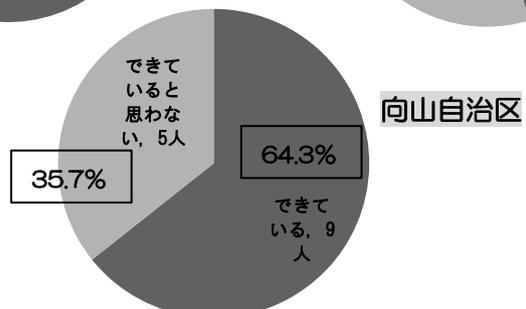
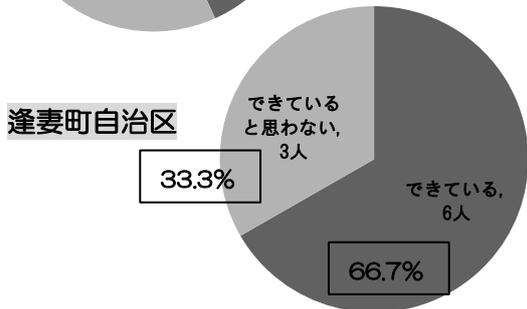
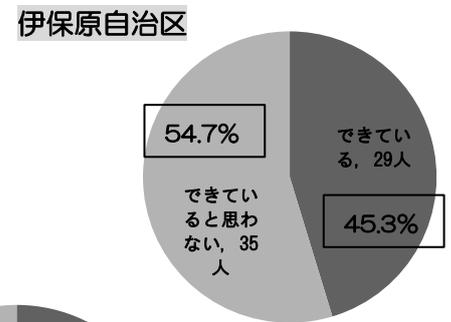
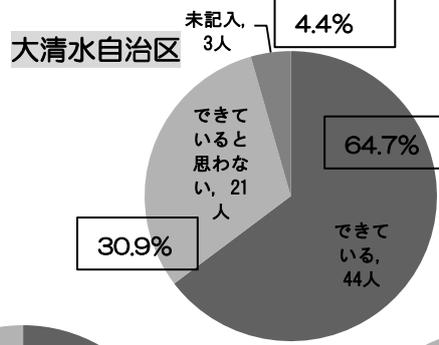
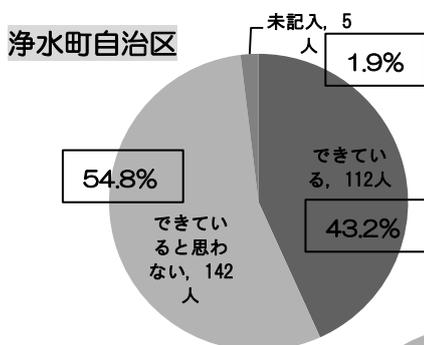
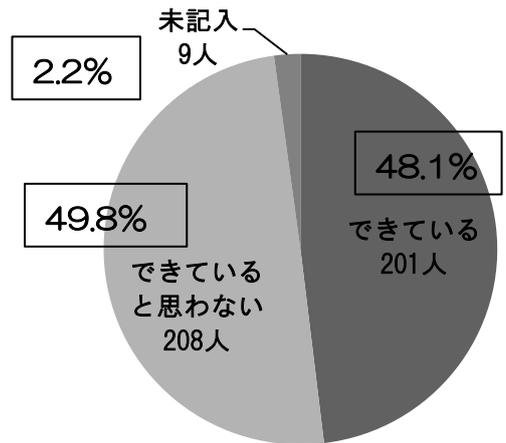
- ① 身の回りで防災訓練を行っているところがない ② 防災訓練についての情報がない  
 ③ 都合がつかない ④ 参加の仕方がわからない  
 ⑤ 面倒である ⑥ 参加する必要性を感じない ⑦ その他 ( )



問10 あなたは災害の時に「共助」ができそうな関係づくりができていますか。

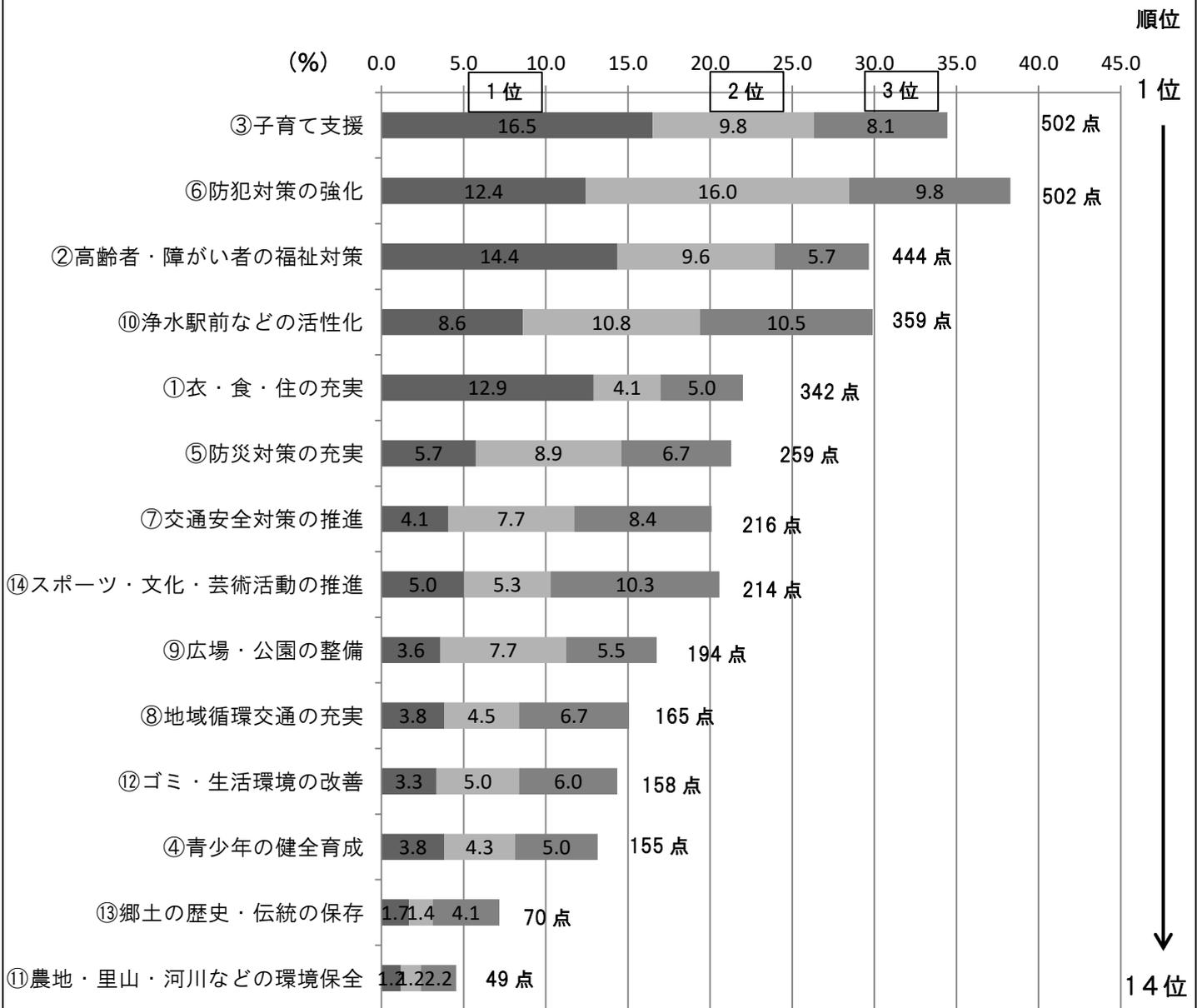
- ① できていると思う  
 ② できていると思わない

**「共助」の関係**  
 前回調査 ①できている=52%  
 今回調査 ①できている=48.1%



## ■多世代交流事業について

問1-1 あなたは、以下のどの分野において、多世代交流による取組が効果的であると感じますか。  
 (上位3つまで項目を選び、順位をつけてください。)



■順位は 1位 5点  
 2位 3点  
 3位 1点 の加点方式で算出  
 ■%は全体に対して〇位と回答した人が何割かを表す。

## 問12 「多世代交流」が促進されるアイデアについてご意見ください。【抜粋】

### 【イベント・行事関連】

- ・伝統芸能を次の世代に伝えるイベントなどがあれば参加したい。
- ・世代が関係なく参加できるイベント（夏祭り等、桜祭り、浄水おいでん、マレットゴルフなど）
- ・（マレットゴルフ大会に参加したことがあるが高齢の方ばかりのため、）もっと「子連れでも参加可」のような案内をすれば若い世代の参加も増えると思う。→感想としては異世代の方との交流が持ててとても良かったので、こういう機会が（他のスポーツやイベントでも）増えるといいと思う。
- ・浄水駅等中心地などでのイベント開催→  
（朝市、骨董市、移動式カフェ、フリーマーケット、B級グルメ大会、学生の発表の場、地産物の販売会、ラジコン大会、ミニ四駆大会、マルシェ、カラオケ大会、軽トラ市の様な野菜や雑貨パンなど売れる場、音楽や芸術などの発表会）
- ・ミニ運動会の開催、地域対抗・運動会の実施（0才～100才までの参加者で行う。）
- ・現状は各行事など自治区単位で行っているが各地域合同でのスポーツ、盆踊り、カラオケ大会、花見、等々まず交流が大切と思います。
- ・浄水区民だけの将棋大会で町が盛り上がると思う。
- ・以前参加した子供と参加できる料理は参加しやすかった。
- ・浄水町に残る少ない自然に触れるイベント
- ・高齢者の「今の食事」と「昔の食事」を色々な年代の人に食べてもらう、一緒に作るイベント
- ・ふれあい～ウォーキング等（誰でも参加できる行事）でコミュニケーションを！最後に簡単な食事をとるとか
- ・例えば夏祭りや健康ウォーキングなどを通じてコミュニケーションを増やす。防犯パトロールなどへの参加。
- ・大規模な子供、高齢者（貧困、一人暮らし）食堂を多数設置。廃棄食品利用、生鮮食品寄付、  
→運搬、調理、接待、教育、etc.
- ・地域的に地元より他県及び他市出身者が多い様に感じるので、「県人会」の様なイベントを開催すると、学生から比較的上の世代まで集まりやすいのではないか。
- ・「三世代交流」の場の設定とイベントなどの年間計画・実施の確保を図る。
- ・家族参加型のラジオ体操の実施
- ・イベント（お祭り・体育大会）を充実させ、多世代が参加できるよう多世代の意見交換をする。またイベント数を増やす必要はないと思う。

### 【交流館・自治区・学校など】

- ・浄水交流館で行われている講座一覧などを回覧してほしい。
- （例）将棋講座が行われているとか参加が可能なものがあれば教えてほしい。茶道など子供の学べる機会があれば浄水交流館や区民会館で講座を開いてもらいたい。
- ・文化祭&体育祭への参加 プール利用の送迎（有料）
- ・小中学校の運動会学芸会に地元の人が参加できる項目を作る。
- ・地元、地域（野菜、料理）の販売に小中高校生が販売に参加する
- ・夏休みなどに高齢者、学生（高校生・大学生）が小中学生とふれあったり一緒に何かに取り組む。
- ・区民会館を使って多世代で交流できる地域食堂とかカフェ、もちつきなど、食を通じて色々な人が交流できる場を作る。
- ・地域の小・中学生達とのスポーツ交流（教え、教えられる関係構築）。
- ・交流館でのイベントを増やす。（季節ごとに、餅つきとか）
- ・浄水中文化祭（まごころフェスタ）のようなことを2～3／年回実施
- ・生活環境の改善を通じ（環境美化活動への参加の呼びかけなど）で地区内での交流をもっと深める。

### 【情報発信】

- ・浄水公園の前にある掲示板やメールなどに情報があると嬉しい。
- ・ラインやツイッターなどの公式アカウントを作り、住民にフォローしてもらう。複数人で管理すると良い。
- ・情報が伝わりにくい感じがあります。ウェブサイトやSNSなどに役立つ情報でアクセス数を増やし、そこで多世代交流イベントの内容掲載や募集をすると良いかもしれません。例えばごみのアプリである「さんあーる」はそこそこ見ます。
- ・防災につながるような危険な場所の再確認など常設で展示
- ・交流館、地域支援室（小中の）の地域交流の基盤がせっかく整っているのに、ここからのイベントの情報発信の方法も自治区の回覧時にもっと効果的に広めるといいのでは？
- ・例3（イベント情報をつつにまとめ、参加者を多く募集する）はいいアイデアだと思います。
- ・会報に何をしているかよりも、アップ写真でいつも貢献している人が分かるのが良いのでは？ 良い行動する

- 人の紹介をして、普段街中で顔を合わせたときに「いつもご苦労様です」と声かけできるようにする。
- ・地域の情報をまとめてウェブで発信してほしい。申し込みもウェブ上でできたら便利。(回覧板の情報では終わってしまっていることがあったので)
  - ・SNS 活用し誰でも気軽に参加できるサークル(井戸端会議みたいな)好きなことを共有する
  - ・ライフスタイルや時間的な余裕に差があるので紙や面着にこだわらず、SNS やメールなどを活用していくべき。
  - ・情報の「収集」、「整理」、「フィードバック」の明確化と充実性を高める。
  - ・出た意見や浄水の今起っていることなど浄水自治区の HP に載せてくださると若い世代の人は自ら情報を得ることができやすいと思います。もう少し、回覧版を活用できるようにするといいいのかなあとも思いました。

### 【ボランティア】

- ・ボランティア活動による浄水地域の名所等を散歩しながら車いすの方や老人、子供らが一緒に楽しめたらいいかも。
- ・地域清掃等、周囲に住んでいる人と一緒にボランティアなどできればやりたいなと思っています。
- ・高齢者の独り暮らしの補助など
- ・もしゴミ捨て場に行くのが困難なお年寄りの世帯があったら、小中学生が交代で、玄関先に置いといてくれたらゴミ捨て場まで運ぶ・・・とかの活動ができたらよいな～と思います。

### 【住民の交流・継承】

- ・産休&育休中の方々と高齢者や退職された方々との交流の機会があると良いと思います。
- ・高齢者の方に、育児に関する知恵や経験を伺う機会を作してほしい。
- ・高齢者と子供が触れ合う機会があると良いと思います。お祭り等の際、音の遊びや、昔の道具、昔の食事を共有できれば良いかと思えます。
- ・どんな分野においても、今後につながる“豆知識”“知恵袋”を年の上の方から出して頂き、それを若い世代に見てもらい『暮らしに役立てる』ものなど。
- ・浄水地域の皆であいさつをしっかりと行い、地域住民同士仲良く声の掛け合いをすることが大切だと思う。
- ・外国人居住者との交流の機会、場の提供。
- ・今、流行っている遊びやスポーツと昔流行っていた遊びやスポーツを子供から高齢者と共に楽しみ、互いに伝えていく。オリンピック競技をやってみる。
- ・高齢者の方が先生になって、ワークショップを行う。編み物、折り紙など生活の中で使う物を手作りで作り上げる事で、子供達にも喜びを感じてもらおう。
- ・子ども、親、祖父母の三世代が交流するイベントを防災、防犯をテーマに実施する。
- ・高齢者と高校生とか、若い子が一緒に料理をしたり、例えばお汁粉とかおでんとかを作って一緒に食べる。
- ・小学生が老人宅を訪問し交流。
- ・老人、独身者のつながりが弱いので、ひとつはもっと積極的に声掛けしていただき、防災、清掃などに取り組んでいいと思います。
- ・近くにマレットゴルフ場が新しくできたけど、利用する機会がないので普段利用されている方と一緒に(教えてもらって)交流する。
- ・浄水町の歴史、昔の様子などを子供たちに伝える。実際に体験できるとなお伝わりやすい。
- ・高齢者だけでなく、障がいのある方(身体、視覚、聴覚いろいろ)との交流を子供のときからやってほしい。(手話も言語、災害時色々な方への関わり方、色々な人はがいと子供たちに知ってほしい)
- ・イベントとして行うのではなく、普段から郷土の歴史などを子どもや新しく引っ越してきた親世代にも伝えていく。
- ・正に例2(高齢者の方がかつての暮らしなどについて子どもたちに伝える機会の提供)
- ・草薙隊について語り伝えあう

### 【その他】

- ・「浄水助け合いカード」を作成。→各自財布の中やランドセルなどに入れておく。カードには家族以外で困った時に助け合う相手の名前を本人に記入してもらおう。なるべく自分と違う世代の人に記入してもらおう。近所の人やイベントで知り合った人でもOK。書いてもらって携帯することで親近感や助け合いの意識も高まるのでは？(子どもが手伝ってあげたい高齢者の名前を記入してもOK)
- ・現在の浄水町付近にある商店や飲食店、又は今後増える商店などを活用する中で「多世代交流」が促進される仕組みづくりを行う。例えば「多世代交流ポイントカード」とか「多世代交流掲示板」での情報交換など。また、携帯アプリ「浄水町ふれあい情報・交流ページ」等IoTの活用事例なども取り入れてみると楽しい。
- ・各地区の公園の緑化や花壇の整備を、地域住民参加で定期的に活動できる組織を作るのはどうか?老人会に属さない高齢者が集まれる会合(区民会館や交流館)を増やす。
- ・地域循環交通の充実を図ってほしい。(浄水駅~豊田市駅のバスの増便)

## ■最後に浄水地域のまちづくりに関して、ご意見がありましたらお書きください。【抜粋】

### 【防犯・防災に関すること】

- ・災害時のためにも、今後マンション住民と旧来の住民の方との交流事業も必要と思います。
- ・災害時に共助とはどういうこと？マンション住まいで交流はほぼない。災害時どう情報を収集し、浄水はどのように動き、市民はどうしたらいいか不安。
- ・災害協力店とあるが、どういうふうに協力してもらえ、誰が指示し、市民にどう伝えるか…
- ・防犯対策にもつながると思うが各家庭の周りをきれいにしておくこと、ゴミ屋敷を出さない。地域として手を打ってほしい。
- ・駅前等に地域会議の情報掲示板等を設置し、広く周知し、防犯意識の高まりと地域の一体感を示す等。（お役目ご苦労様です）

### 【福祉（子育て・高齢者・健康）に関すること】

- ・子育て支援について浄水区民会館でイベントの開催や部屋の開放を積極的に行ってほしいです。解放されている場所まで車が必要だったりするところが多い。
- ・子育て世代だけでなく、高齢者、お子さんがいない御家庭向けの事業・講座（大人向けの）をもっと充実したらみんなが住みやすくなると思う。
- ・高齢者が公園等を利用する時の休憩時、長椅子が設置されていけば外に出る機会が増えると思います。
- ・浄水地域の新しい街には公園が多くできているが、昔からある地域には高齢者が集うような公園が整備されていないように思う。ベンチがあつておしゃべりに出かけられるところとか、近くにあると家の中にばかりいる高齢者も外に出る機会が増すと思う。

### 【交通安全に関すること】

- ・横断歩道が少ない。また交通量も多く事故も多いため、特に通学路などは安全対策をしっかりしてほしい。
- ・歩道、自転車、自動車道をきっちり区切ってほしい。
- ・ゾーン30でもスピードを出す車がいる為必要な場所にはスピード抑制のためバンプ等を設定してほしい。
- ・自転車の走りやすい道、道路の整備を希望します。

### 【活性化に関すること】

- ・駅前の活気がない。商業の活性化をはかってほしい。
- ・駅前にコンビニや飲食店が欲しいです。
- ・飲みニケーションの場が少ない
- ・地域に近い企業に協賛していただいて、win-winになるイベントを企画すると良い。パワーがある（潜在的な）子供、商店街もサポートを多めにすれば可能。
- ・もうすぐ車の運転ができなくなるため、買い物、運動等移動出来たら（定刻有料）とても幸せだと思います。

### 【環境整備に関すること】

- ・ゴミの散乱やたばこのポイ捨てなどマナーの悪化が目立つ。
- ・環境美化に努めてほしい。

### 【その他】

- ・新しい試みを次々としかけていき楽しいことも多いのですが、スピードが速すぎて取り残されている気分になることもあります。
- ・たくさんの行事、訓練等実施されていますが参加する気力がないため申し訳ありません。
- ・浄水駅付近でスケボーしてる人をよく見かけるので、ただ追い出すのではなくできる場を提供しても良いのではないかと。
- ・世代が違くと話が全く合わない。多世代交流は無理やり推進する必要がないのでは？それぞれの考え方は生き方と同義であり、考え方の否定は生き方の否定となる。
- ・集合住宅に住んでいる世帯と戸建て住宅に住んでいる世帯との間で隔たりを感じる。どちらも多い地域なので開かれた関係になれると良いと思う。
- ・浄水に住み始めて約4年ですが、なかなか長くこちらに住んでいる方々と触れ合う機会が無いので、色々話が聞きたいです。
- ・いつも回覧板で、交流館での催物、浄水小、中学校便りなど読ませて頂き、町民の皆様の活躍に感心していました。今後、機会を見つけて、参加したいと思います。
- ・ボランティアをする人がだいたい決まっていますので、たまに参加したくても入りづらいです。時間のある人ばかりではないと思うので、少しでも参加したいと思う人が気軽に参加できる様になればいいなと思います。